

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年03月22日

計画の名称	子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	阿南市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、30年以内に70%程度の確率で発生が予想される「南海トラフ地震」などの地震や津波災害に備え、地域防災計画で指定されている小学校等の周辺に避難施設の整備を行うと共に、子どもからお年寄りまで幅広く住民等の防災意識向上を図り、安全・安心な都市づくりを推進する。</li> <li>・沿岸部では、多くの住民が津波到達時間までに避難できないことが想定されるため、子どもからお年寄りといった幅広い世代の住民が安全に避難できるように施設整備を推進する。</li> <li>・関係機関が連携して行う合同点検結果を踏まえ、子どもなどが安全に避難できるよう、避難経路の安全対策を推進する。</li> </ul>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	728	A	725	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.41	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	小学校等の周辺に避難地等の整備を行い、子どもやお年寄りなど、素早い避難行動が比較的困難な住民を含めて安全かつ速やかに避難できる人口を増加させる。 一時避難場所になる施設の収容人数	6700人	6880人	8330人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	阿南市	直接	阿南市	-	-	都市防災総合推進事業	(富岡東部地区)防災公園整備 (那賀川町工地地区)防災広場 整備	阿南市						725		-	
												小計						725		
											合計						725			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
備考																				
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	阿南市	直接	阿南市	-	-	都市防災総合推進事業	防犯灯設置	阿南市						3	-		
		基幹事業(A13-001)の施設整備と一体的に実施することにより、地域防災力の向上を図る。																		
												小計						3		
												合計							3	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02		
配分額 (a)	242	114	100		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	242	114	100		
前年度からの繰越額 (d)	0	153	62		
支払済額 (e)	89	205	92		
翌年度繰越額 (f)	153	62	70		
うち未契約繰越額(g)	51	40	28		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	21.07	14.98	17.28		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補償処理に不測の日を要したため	並行して事業を実施することが困難であるため	並行して事業を実施することが困難であるため		

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 計画の目標と定量的指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 定量的指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施期間及び全体事業費が適切である。	○

(参考図面)

